

お家 困ったなああった新聞

2023.6.5 発行 第75号

交野市妙見桜並木通り、株式会社さくら山の山北です。毎年、梅雨時には雨漏れ、水漏れのご相談を多くいただきます。今回は以前に、僕が担当した現場のお話です。

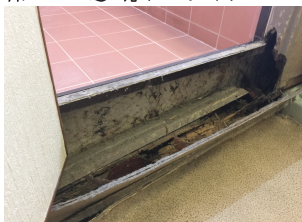


住宅アドバイザー 山北

# ベコベコ！床…ぬけた！

「昨日お風呂に入ろうとしたら、床がゴソッと下がって！そのまま地面まで落ちるんじゃないかと怖くてたまらなくなつて、さくらさんとここに電話した」と奥様からのご相談でした。直感で僕は、「これはシロアリ被害かも…」と思い、すぐにシロアリ駆除専門職人さんと、大工さんにも声をかけて一緒にお宅に伺いました。

床が10cm近く落ちていました！



お風呂のドアの木枠がごっそり喰われていて、ほとんど残っていませんでした。



調査するとやっぱり！シロアリにかなり喰われていてスカスカになり、耐えられなくなつてついに落ちたのでした。

奥様は「前から床がベコベコするなど気になつてはいたけど、放つてたらまさかこんなことになるなんて！」と驚かれています。

## 水漏れの原因はどー？

被害が一番ひどかったのが、お風呂のドアの下。実はお風呂側のタイルがガッツリ割れていました。そこからかなりの水漏れがあつたと思われまふ。

職人さん達の見解は、「家の大事な構造体がやられて弱くなり、耐震強度が低下している。早いうちに基礎工事から建て替えた方が良い」とのことでした。

リフォームのご提案でむずかしいのは、今回の工事どこまで直すか？何回かに分けるか？一気に直すのか？といった専門的な判断です。お客さまにも資金計画があり予算も決まってきました。応急処置



脱衣場の床面の解体が始まったところです。職人さんが乗った瞬間で20cmも床が沈み、非常に危険な状態でした！

でいいのか、土台から全部を新しくやりかえるのか？また、今の家がどういう構造、工法で建てられているのかによって工事のやり方が違います。お話を伺うと、築40年ほど経つので5年後には全面建替え工事を計画中、とのことでした。

基礎のやり直し。金属に替えて、土台もすべて新しく組み直しました。



ご覧のように脱衣場にはトイレと洗面所を取替え。



After

専門家としては、「早目に家全体を」とアドバイスさせてもらった上で、今回はこの落ちた床部分の構造を組み直し、傷んだ木材の補強。お風呂はそのままタイルのヒビ割れ修繕だけをキッチリして洗面台とトイレ入替え、床と壁は新調することになりました。まずは解体して床下の基礎作り。床材を補強してクッションフロア貼り。壁はクロスとパネル貼りで仕上げました。工事は3日間、応急処置で、床は直つたのです。



羽アリ・シロアリ ネット検査画像

## シロアリはゴ○○リの仲間？

シロアリ一家は数千〜数万匹で、種類によつては数百万匹にもなる集団生活をしています。実は、昆虫学から見るとゴキブリ目シロアリ科に分類され、アリとはまったく別の種類です。シロアリの多くは地面からやって来て、湿つた木の繊維を食べます。お家の大事な基礎の木材部分が、餌食となつてスカスカになると、もろくて崩れやすくなるのです。おうちの点検を信頼できる専門家に相談され『備える』ことをお勧めします。

## 過去の「困ったなああった新聞」

ぜひこちらからご覧ください。



- 星田本店：交野市星田2丁目 25-1
- 青山店：交野市青山3丁目 2-19
- 茄子作店：枚方市茄子作東町 6-36

☎ 0120-390-155

株式会社 さくら でんき リフォーム 新築 不動産